

高品質で長く楽しめる花づくり

夫婦二人三脚で農業を



【埼玉】加須市の横田園芸代表の横田仁詩さん(36)、歩美さん(36)夫妻は、仁詩さんの父と従業員5人で宿根ネメシアを中心に、花壇苗を約50品目栽培している。

寄せ植え教室も

その日の天候に適した肥料(液肥)を選び、複数の花が同じ生育状況となるように栽培している。

歩美さんは3年前、プランツギャザリングの資格を取得した。根が付いた複数の植物をフラワーアレンジメントのように組み合わせ、寄せ植えの技法で、長く楽しめる花束として贈り物にもおすすすめだ。また、2年前から寄せ植え教室も開いている。「消費者の人に喜んでもらえることが一番うれしい」と歩美さんは話す。今後は施設の整備を行い、効率の良い栽培へつなげたいという仁詩さん。「消費者はもちろん、従業員や販売に関わるすべての人を大切に、より品質の高い花栽培を続けていきたい」と笑顔で話す。

宿根ネメシアを中心に花壇苗を栽培する横田さん夫妻

埼玉
加須市

横田仁詩さん、歩美さん夫妻